

いつもお世話になっております。
今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。
暑い毎日が続いておりますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

お盆のある日、涼を求めて友人と「瀧原宮」へ行きました。瀧原宮は伊勢神宮の別宮で、40キロほど離れた山間に鎮座しています。伊勢神宮の外宮や内宮と違って参拝者も少なく静かな場所です。

鳥居をくぐって参道を少し歩き、右手の方へ降りると、手水場の川があります。川に近づくと急に涼しくなり、せせらぎの音、蝉の声、風のざわめきと木漏れ日・・・俗世からはなれ、神の領域に足を踏み入れたような雰囲気です。手を洗った後も、ずっとその場所に留まっていたくなるような気持ちのよい場所です。

川面に霧のようなミストが立ち込め、木漏れ日に照らされて煌めきながら、ゆっくり川下へと移動していきます。冷たい水にしずかに手を浸すと、小さな魚が集まってきて、それにつられる様に、もう少し大きな魚も近づいてきます。そんな夢のような光景に、しばらく見惚れていました。

参拝をするため川を離れると、急に暑くなりました。「俗世にもどってきたね」と笑いながら、参拝をしました。

次は、近くの「八重谷湧水」を訪ねました。車がすれ違えないような一本道を登っていくと、数人の家族連れが川遊びをたのしんでいました。

看板の矢印に従い、小川に沿って木組みの遊歩道を進みます。途中にある小さな滝もとても美しくマイナスイオンたっぷりです。先ほどと同じ様な自然の中の小川ですが、「瀧原宮の川は神界で、こちらは自然界。両方来てみると違いがよくわかるね。」と話しながらしばらく進むと、すぐ湧水地にたどりつきました。こぼこぼと湧き出す様子は、生きているかのようでした。

入り口の水汲み場に戻り、ご近所の方にお聞きすると、この水は名水で、以前は遠くから水を汲みに来る方が大勢おられたそうですが、山に鹿が増えすぎて衛生面の心配があることから、水を汲む方も減っているという事でした。自己責任で一口飲んでみましたが、とても口当たりの良い美味しいお水でした。

次は、頭之宮四方神社へ。名前通り「頭の神様」で、唐橋中将光盛卿の髑髏を祀っているそうです。こちらでも神社の脇を流れる川で手を清めることができます。「頭の水(知恵の水)」というご神水をいただきました。頭といっても学業だけでなく、仕事もお金も良縁も健康も全ては脳につながるということで、様々なご利益がある神社でした。

川・滝・湧水と、水づくしの一日でした。自然の水があるところは、どこもひんやりとして気持ちがいいです。多すぎても少なすぎても人間の生死に直結する水のことを、大切に考えようと思いました。

まだまだ記録的猛暑が続くのでしょうか。私としてはこの暑さにもだいぶ慣れてきて、夏の終わりを切なく思っていますが、農産物へのダメージも大きいようで心配です。皆さまも、夏のお疲れが出ませんように、どうぞご自愛くださいませ。



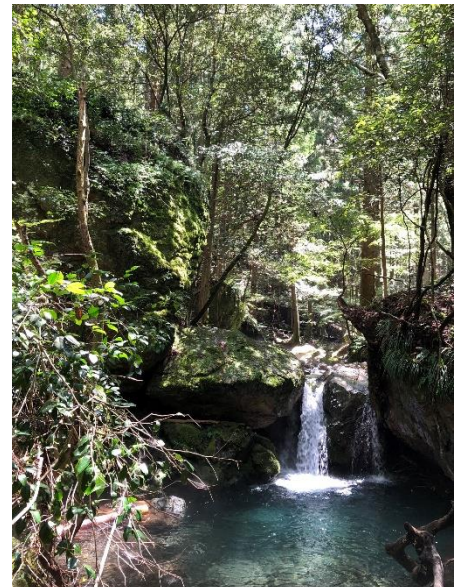
写真では神聖な雰囲気を
お伝えできなくて残念です。



瀧原宮



八重谷湧水



小さいけれど美しい滝でした